

日本外交文書 昭和期Ⅰ第二部第三卷 日付索引

昭和期Ⅰ（昭和二―六年）第二部第三卷 日付索引

昭和二年

事項 番号	文書 番号	発・受 信者	件	名	頁
三	81	三 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛（電報）	森林利権契約原案の解釈に関するソ連側利権 局の覚書について		218
一	1	出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使 会談	満州問題・漁業問題等に関する会談要旨		1
三	47	二〇 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ソ連の利権政策に関するヨッフエの発言につ いて		132
		付記 昭和二年十一月二十九日付在ソ連邦田中大使より幣原外務大臣宛 商公第二八号 ソ連の利権政策について			132
三	82	公四八 在ウラジオストック渡辺総領事より 幣原外務大臣宛	森林利権契約成立に関するウラジオストック 管区機関紙記事について		218
一	2	三二 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣の議会演説に関するイズヴェス チヤ紙の社説について		6
三	83	一六 在ハバロフスク川角総領事代理より 幣原外務大臣宛（電報）	漁業交渉および林業交渉等に関するソ連側現 地責任者内話		221
三	48	本機密 一六 在アレクサンドロフスク佐々木総領 事より 幣原外務大臣宛	対ソ利権業者の連絡機関設置の必要性に関す る意見具申		137

三	49	昭和2年2月12日	一六	在アレクサンドロフスク佐々木総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	サハリンにおける利権問題の交渉に関するソ連側の申入れについて	140
三	50	昭和2年2月19日	九	幣原外務大臣より 在アレクサンドロフスク佐々木総領事宛(電報)	利権問題に関するソ連側との交渉方法について	141
六	282	昭和2年2月22日	七一	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	中央執行委員会におけるリトヴィノフの対英政策に関する発言	520
五	272	昭和2年2月25日	三七	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	絵画展開催に関し日露協会の経費負担は困難な現状について	511
六	283	昭和2年2月25日	六四	在英國松井大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英國政府のソ連邦代表に対する左傾運動禁止要求および英紙論評	521
六	284	昭和2年2月27日	八〇	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英國の対ソ抗議に関するイズヴェスチャおよびブラウダの社説	522
六	285	昭和2年2月27日	八一	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英國の抗議におけるソ連邦側の対応について	523
五	273	昭和2年2月28日	八七	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	絵画展の準備状況並に日露協会に関するソ連側主催者の期待について	511
五	274	昭和2年2月28日	警保局外 乙二九	松村内務省警保局長より 堀田外務省欧米局長宛	ソ連の対日宣伝に絵画展が利用されないよう内務省からの注意喚起	512
三	84	昭和2年2月		欧米局第一課調書	モスクワにおける森林利権契約締結経過	222
六	286	昭和2年3月(5)日	七二	在英國松井大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英國の対ソ抗議に対するソ連側回答に関する英國外相の演説について	524
四	110	昭和2年3月12日	五九	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	出漁期との関係から漁業条約締結交渉妥結を図り三月末までに漁区確定の旨訓令	274
四	111	昭和2年3月13日	一二三	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	出漁問題に関する本邦関係者の意向至急回訓方要請	277
四	112	昭和2年3月16日	六二	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	蟹・鯨の漁区については昨年度と同様とする旨申入れ方訓令	277
四	113	昭和2年3月16日	六五	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	出漁方法および漁業条約締結交渉に関する露領水産組合の決議について	278
四	104	昭和2年3月18日		出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使	漁業問題等に関する日本側の希望について	246
四	114	昭和2年3月20日	一四二	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	蟹・鯨漁業問題に関するストモニヤコフ漁業代表との会談について	279
四	115	昭和2年3月20日	一四三	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	漁業問題の解決に関するカラハン人民委員代表との会談について	281
四	116	昭和2年3月22日	一四九	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	競売廃止に難色を示すソ連側への対応につき請訓	283
四	117	昭和2年3月23日	七〇	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	鯨・蟹漁区の一年間当業者への貸下げにつき本国政府に打電方本邦代理大使へ申入れ	284
三	51	昭和2年3月24日	四二	在ハバロフスク川角総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	極東地方共産党大会における北樺太利権企業との団体契約に関する論評	142
			付記	昭和二年八月十五日欧米局第一課調査 極東ソ連領における各種利権の団体契約に関する調査		142

三	57	昭和2年3月24日	欧一普通 合二五一	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使他宛	北サガレン石炭企業組合より北樺太鉱業株式 会社への権利等移転に関する通報について	153
四	118	昭和2年3月25日		出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使 会談	漁区貸下げ問題等に関する駐日ソ連邦代理大 使の来談	284
三	52	昭和2年3月25日	本機密 四四	在アレクサンドロフスク佐々木総領 事より 幣原外務大臣宛	利権企業供給物資価格のルーブルへの換算に ついて	146
四	119	昭和2年4月1日		出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使 会談	鯨・蟹出漁問題並びに中国時局問題等に関す る意見交換	286
四	120	昭和2年4月4日	五九	在ウラジオストック渡辺総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	四月四日競売の結果について	288
四	121	昭和2年4月4日	六〇	在ウラジオストック渡辺総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	競売の結果につき詮議方請訓	289
四	122	昭和2年4月5日	九四	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	予想に反する競売結果に対し我が方の希望実 現方訓令	290
四	123	昭和2年4月5日	九五	幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	競売および最低価格につき再度交渉方訓令	290
四	124	昭和2年4月5日		出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使 会談	蟹・鯨漁区競売結果に関する会談	290
四	125	昭和2年4月5日	一七三	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	競売結果に対するカラハンの陳謝並びに善後 策表明	291
四	126	昭和2年4月5日	一七四	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	競売の結果とソ連当局の対応振りについて	293
四	127	昭和2年4月7日		幣原外務大臣 在本邦ソ連邦代理大使 会談	鯨・蟹漁区経営に関し昨年と同様の希望申入 れ	293
四	128	昭和2年4月(8)日	一七七	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	カラハンの再競売実施表明に対し我が方の対 応振りにつき意見具申	295
六	287	昭和2年4月9日		出淵外務次官 在本邦ソ連邦代理大使館参事官 会談	在北京ソ連大使館捜索問題に関するベセドフ スキー参事官来談	524
五	275	昭和2年4月9日	欧一普通 一五	幣原外務大臣より 在本邦ソ連邦代理大使宛	絵画展名誉総裁に幣原外相の就任受諾	512
四	129	昭和2年4月12日	八四	在ウラジオストック渡辺総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	漁区再競売の実施について	296
四	130	昭和2年4月13日	一〇四	在ソ連邦田中大使宛(電報)	鯨・鯨出漁に関する基本方針について	296
四	131	昭和2年4月15日	一九四	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	鯨・鯨漁区の競売方法に関するカラハンの 会談について	298
四	132	昭和2年4月15日	八八	在ウラジオストック渡辺総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	鯨・鯨漁区の競売方法に関する意見具申	298
六	288	昭和2年4月15日	亜一機密 合三五五	幣原外務大臣より 在中國公使、在欧米各大使、在上海、 漢口、奉天、広東各総領事宛	最近の中國問題等に対するソ連側対応に關す る駐日独国外務大臣内話	525
二	25	昭和2年4月(2)日	二〇二	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	ルイコフ首相の対日通商条約締結に関する意 向表明について	89

六	290	昭和2年6月27日	三二五	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	シノヴィエフおよびトロツキーの中央委員会除名に関する中央監督委員会幹部会の決議	529
二	28	昭和2年6月24日	三二三	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	日ソ通商拡大に関するカリーニン議長の発言について	92
三	61	昭和2年6月21日	公二二四	田中外務大臣宛	在ハバロフスク川角総領事代理より	北樺太石油利権企業の労働者募集関係記事について	156
三	60	昭和2年6月20日	合五五五	田中外務大臣宛	在ハバロフスク川角総領事代理宛	北樺太石油会社代表に対する便宜供与依頼	155
四	106	昭和2年6月16日	六九二九	田中外務大臣	在本邦ソ連邦大使	漁業問題等に関する田中大臣と駐日ソ連大使との会談要領	252
二	27	昭和2年6月10日	農	阿部農林次官より	出淵外務次官宛	柑橘類の対ソ輸出促進に関する我が国生産者からの請願	91
一	9	昭和2年5月24日		田中外務大臣	在本邦ソ連邦大使	共産主義対日宣伝および漁業問題等をめぐる応答	26
二	26	昭和2年5月21日	二五八	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	ミコヤン内外商業人民委員によるソ連の対外通商基本政策の発表について	89
三	53	昭和2年5月19日	七八	田中外務大臣宛(電報)	在ハバロフスク川角総領事代理より	北樺太利権企業の労働者雇入れ関係記事について	147
三	59	昭和2年5月17日	七七	田中外務大臣宛(電報)	在ハバロフスク川角総領事代理より	北樺太石油会社とハバロフスク労働部との労働者雇入れ比率に関する契約調印	155
三	58	昭和2年5月10日	七六	田中外務大臣宛(電報)	在ハバロフスク川角総領事代理より	北樺太石油会社代表とハバロフスク労働部との労働者雇入れ等に関する交渉について	154
四	141	昭和2年5月9日		出淵外務次官	在本邦ソ連邦大使館参事官	鮭・鱒出漁問題に関する会談	309
四	140	昭和2年5月9日		田中外務大臣	在本邦ソ連邦大使	本年の出漁問題に関し好意的斡旋の希望申入れ	307
四	139	昭和2年5月4日	二二三	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	漁区および最低価格等に関するカラハンとの会談並びに今後の対応振りにつき請訓	305
四	138	昭和2年5月4日		出淵外務次官	在本邦ソ連邦大使館参事官	漁区入札問題の円満妥結に関する意見交換	305
四	137	昭和2年5月3日	二二二	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	漁区再競売実施に関するソ連側回答について	303
四	136	昭和2年4月29日	二二七	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	漁区競売に関するカラハンへの抗議について	302
四	135	昭和2年4月28日	一一八	田中外務大臣宛(電報)	在ウラジオストック渡辺総領事より	競売強行に対する抗議並びに再競売実施につき申入れ	301
四	134	昭和2年4月26日	二一〇	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使より	競売期日延期に対するカラハンの不同意表明について	300
四	133	昭和2年4月23日	一一九	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦田中大使宛	日延期申込れ方訓令	299
四	105	昭和2年4月22日		出淵外務次官	在本邦ソ連邦大使館参事官	漁業問題その他に関する会談	249
六	289	昭和2年4月21日	二二五	田中外務大臣より	在中国芳沢公使宛(電報)	第四期党大会におけるルイコフの外交演説について	528

二 昭和2年7月9日 機密 29
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛
 我が国柑橘類の対ソ輸出申し入れに対するソ連側の反応について …… 93

三 昭和2年7月14日 一四九 85
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 「露領林業組合」団体交渉の現状について …… 231

二 昭和2年7月25日 機密 30
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛
 我が国柑橘類の対ソ輸出に関するスウェットフ商業人民委員極東代表との会談要領について …… 94

三 昭和2年7月25日 本機密 54
 在アレクサンドロフスク佐々木総領事より
 田中外務大臣宛
 対ソ利権事務調整のための機関設置に関する意見具申 …… 147

二 昭和2年7月28日 一六〇 31
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 我が国柑橘類試買決定に対するスウェットフ商業人民委員極東代表からの通報 …… 95

六 昭和2年8月11日 三九〇 291
 在ソ連邦田中大使より
 田中外務大臣宛(電報)
 共産党中央委員会の外交問題および反対派処分問題等に関する決議について …… 529

三 昭和2年8月11日 一七〇 86
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 「露領林業組合」団体交渉における問題点について …… 232

三 昭和2年8月12日 一七二 87
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 「露領林業組合」団体交渉に関する意見具申 …… 233

三 昭和2年8月12日 機密 88
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛
 「露領林業組合」団体契約交渉に関する合意文書について …… 233

五 昭和2年8月23日 出淵外務次官 219
 出淵外務次官 会談
 漁業問題・ハンカ湖開墾問題等に関する在京ベセドフスキー連邦代理大使の発言要領 …… 424

付記一 昭和二年四月十三日ベセドフスキー参事官来談
 後藤新平提唱のハンカ湖付近開墾問題について …… 425

二 昭和二年五月後藤新平より在本邦ソ連邦大使に手交の覚書
 沿海州における開墾会社設立について …… 426

三 昭和2年8月26日 一八一 89
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 最低賃金問題に関し先方組合代表との会談について …… 234

三 昭和2年9月8日 一八七 90
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 最低賃金問題につきマモノフ農務庁長官への申入れ …… 235

五 昭和2年9月27日 機密 249
 在ウラジオストック渡辺総領事より
 田中外務大臣宛
 極東ソ連経済関係団体有力者の本邦視察計画について …… 483

三 昭和2年9月29日 内閣雑 262
 内閣雑 乙
 二七〇
 鳩山内閣書記官長より
 出淵外務次官宛
 北樺太石炭利権保護に関する請願書 …… 157

別紙一 坂井組合代表請願書 …… 158
 別紙二 塚原組合代表請願書 …… 161
 出淵外務次官口述筆記 …… 7
 我が国の対ソ提携基本方針について …… 7
 武富通商局長私見 …… 254
 日露漁業協約調印に関する武富通商局長私見 …… 254

一 昭和2年10月4日 機密 10
 在ウラジオストック渡辺総領事より
 田中外務大臣宛
 本邦漁船乗組員に対する共産主義宣伝活動について …… 30

一 昭和2年10月6日 四〇五 4
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛
 満蒙問題解決並びに日ソ関係に関するドブガレフスキー連邦大使との会談要領 …… 12

五 昭和2年10月6日 一九四 220
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛(電報)
 極東ソ連有力者の本邦入国査証発給方願出について …… 484

五 昭和2年10月8日 一九四 250
 在ハバロフスク川角総領事代理より
 田中外務大臣宛
 後藤新平訪ソの目的等に関する会談要領 …… 428

別電 昭和二年十月八日付在ハバロフスク川角総領事代理より田中外務大臣宛
 第一九五号
 視察団一行の名簿について …… 485

五	251	昭和2年10月(9)日	二五九	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	極東ソ連産業関係部門本邦視察団に対する便宜供与依頼	486
三	91	昭和2年10月10日	一九七	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	最低賃金問題に関する妥協成立について	236
五	252	昭和2年10月11日	欧一機密 一六五一	堀田外務省欧米局長より 山岡内務省警保局長宛	極東ソ連有力者視察団の本邦入国につき通報	486
五	221	昭和2年10月12日		田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	後藤訪ソ延期の通報ならびにその資格に関する田中大臣と駐日ソ連大使の意見交換	429
五	253	昭和2年10月12日	六七	田中外務大臣より 在ハバロフスク川角総領事代理宛 (電報)	視察団一行の日程および希望等について照会	486
三	92	昭和2年10月13日	二〇一	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	賃金問題等に関する団体契約の調印について	236
一	11	昭和2年10月14日	外甲秘 一六三八	沢田北海道庁長官より 鈴木内務・田中外務各大臣他宛	共産主義宣伝を受けた漁船乗組員の帰国について	32
五	254	昭和2年10月15日	二〇二	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	視察団員の視察日程および希望等に関する回答	487
五	255	昭和2年10月15日	二〇三	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	視察団員に対する鉄道省等の便宜供与依頼	487
五	256	昭和2年10月15日	警保局外 発乙 二九九	山岡内務省警保局長より 堀田外務省欧米局長宛	視察団の入国に関する内務省の了承	488
三	63	昭和2年10月16日	二〇四	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	ハバロフスクにおける中里北樺太石油会社社長一行への歓迎振りについて	163
五	257	昭和2年10月16日	二〇五	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	主要視察団員の顔触れについて	488
一	5	昭和2年10月18日		田中外務大臣 在本邦仏国大使 会談	満州鉄道問題等をめぐる日ソ関係についてのデュビリー仏国大使との会談要領	13
一	6	昭和2年10月19日		田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	訪日に際しての視察団長談話	489
五	258	昭和2年10月18日	公三〇五	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	久原房之助の訪ソにつき田中外相より駐日ソ連大使に便宜供与方依頼	14
三	64	昭和2年10月19日	二七三	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	中里社長一行のウラジオストック有力者との交歓について	166
五	259	昭和2年10月20日	二七七	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	視察団員中の学術専門家について	490
五	260	昭和2年10月21日	二七八	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	訪日視察団に関するソ連紙報道振り	491
二	32	昭和2年10月25日		武富外務省通商局長より 百濟奈良県知事宛	ソ連の我が国柑橘類輸入状況と今後の見通しについて	96
五	261	昭和2年10月25日	兵外発秘 三三五八	付記 九月二十九日付百濟奈良県知事より 柑橘類の対ソ輸出に関する照会	極東ソ連経済関係有力者の神戸訪問について	491
二	33	昭和2年10月27日	通一機密 四二四	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛	通商局作成「対露貿易振興案」の送付について	97

付記 昭和二年十月十日付在ハバロフスク川角総領事代理より田中外務大臣宛
第一九八号(電報)
視察団員の変更について

五	262	昭和2年10月27日	一六五二	外甲秘 田中北海道庁長官より	視察団員の函館等訪問について	……	492
五	263	昭和2年10月27日	二六三八	外秘 宮田警視總監より 田中外務大臣他宛	視察団一行の動静並びに日程について	……	495
五	264	昭和2年10月29日	公三二二	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	視察団に対する歓迎振りを伝えるハバロフスクの新聞記事	……	498
五	265	昭和2年10月29日	二六六七	外秘 宮田警視總監より 田中外務大臣他宛	視察団の訪日目的等について	……	499
五	266	昭和2年11月7日	一〇八〇	外高秘乙 市村福井県知事より 田中外務大臣他宛	マモノフ極東ソ連農務長官の帰国にあたっての談話	……	500
五	222	昭和2年11月14日	五二九	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	後藤訪ソ決定の真否に関する照会	……	430
五	223	昭和2年11月16日	三二二	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	後藤訪ソ・訪独の日程に関する回答	……	430
五	267	昭和2年11月17日	二九六	在ウラジオストク渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	訪日視察団長の帰国談話記事について	……	501
五	268	昭和2年11月19日	公四六七	在ウラジオストク渡辺総領事より 田中外務大臣宛	訪日視察団帰国関係記事報道振り	……	504
五	224	昭和2年11月24日	二九一一	外秘 宮田警視總監より 田中外務大臣他宛	後藤訪ソの日程および随行員等に関する情報	……	431
五	269	昭和2年11月25日	二六四六	朝保秘 朝鮮総督府浅利警務局長より 在中國芳沢公使他宛	ザバイカル鉄道管理局長の訪日視察報告	……	505
一	7	昭和2年11月30日	……	田中外務大臣 在本邦米國大使 会談	訪日視察団への歓迎振りに対する反響	……	16
五	270	昭和2年11月25日	三六四	機密 在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	訪日視察団の歓迎振りに対する反響	……	508
五	271	昭和2年11月30日	四九一	機密 在ウラジオストク渡辺総領事より 田中外務大臣宛	訪日視察団歓迎に対する反響について	……	509
五	225	昭和2年12月3日	三三七	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	後藤の訪独中止について	……	431
五	226	昭和2年12月5日	二九九五	外秘 宮田警視總監より 田中外務大臣他宛	後藤一行出発の模様について	……	432
五	227	昭和2年12月9日	公三八三	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに関するハバロフスクソ連共産党機関紙の報道振り報告	……	433
五	228	昭和2年12月12日	公四九九	在ウラジオストク渡辺総領事より 田中外務大臣宛	久原房之助および後藤新平の訪ソをめぐるソ連紙報道振りについて	……	435
六	292	昭和2年12月14日	五五三	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	共産党第十五回大会におけるブハーリンの共産インターナショナルに関する演説	……	532
五	229	昭和2年12月14日	一〇八九	諜報機密 在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに対する上海労農派関係者の反響報告	……	436
五	230	昭和2年12月15日	二七八	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛(電報)	後藤一行のハルビン来訪について	……	436
五	225	昭和2年12月3日	三三七	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	後藤の訪独中止について	……	431
五	226	昭和2年12月5日	二九九五	外秘 宮田警視總監より 田中外務大臣他宛	後藤一行出発の模様について	……	432
五	227	昭和2年12月9日	公三八三	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに関するハバロフスクソ連共産党機関紙の報道振り報告	……	433
五	228	昭和2年12月12日	公四九九	在ウラジオストク渡辺総領事より 田中外務大臣宛	久原房之助および後藤新平の訪ソをめぐるソ連紙報道振りについて	……	435
六	292	昭和2年12月14日	五五三	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	共産党第十五回大会におけるブハーリンの共産インターナショナルに関する演説	……	532
五	229	昭和2年12月14日	一〇八九	諜報機密 在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに対する上海労農派関係者の反響報告	……	436
五	230	昭和2年12月15日	二七八	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛(電報)	後藤一行のハルビン来訪について	……	436

六	293	昭和2年12月10日	五五六	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	付記一 昭和二年十二月十四日付在ハルビン八木総領事より田中外務大臣宛 普通第七九二号 ハルビンにおける後藤一行等に対する歓迎振り並びに同地ソ連紙の論 調等について	437
五	231	昭和2年12月16日	一七六四	田辺大阪府知事より 田中外務大臣他宛	二 昭和二年十二月十六日付在ハルビン八木総領事より田中外務大臣宛 普通第七九五号 後藤訪ソにかかわるハルビン漢字紙の論調報告	439
五	232	昭和2年12月17日	公二四二	在スペイン国太田公使より 田中外務大臣宛	日本の対中国政策に関するブハーリン演説の 事実誤認につきカラハンへの抗議	534
五	233	昭和2年12月19日	二八三	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛(電報)	後藤訪ソに関する大毎元モスクワ特派員の報 告について	440
五	234	昭和2年12月21日	公二四八	在ノヴォシビルスク緒方領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに関するスベイン紙記事報道振り報 告	442
五	235	昭和2年12月27日	公三七四	在ハンブルグ米栖総領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに対する中国側の反応について ノヴォシビルスクソ連共産党機関紙の後藤と のインタヴュー記事	443
五	236	昭和2年12月29日	一三九八	在中國芳沢公使より 田中外務大臣宛(電報)	後藤訪ソと我が国の対中国・対ソ政策に関す るドイツ紙論評	445
五	248	昭和2年12月—昭和3年1月			久原・後藤の訪ソに対する中国各紙の報道振 り	447
					後藤新平訪ソ関係会談要領	462

昭和三年

一	12	昭和3年1月4日	機密六	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛	本邦漁船員の国際海員クラブ訪問に関するソ 連紙記事報告	33
五	237	昭和3年1月5日	普通公 一二	在米田松平大使より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに関する米紙報道振り り	447
五	238	昭和3年1月6日	普通三	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソに対する中国におけるロシア紙報道 振り	448
三	65	昭和3年1月6日		中里北樺太石油株式会社社長より 堀田外務省欧米局長宛	石油トラストに関する日ソ両国企業体間の契 約締結について	166
五	239	昭和3年1月7日	機密四	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	久原・後藤訪ソのソ連極東地方官民に与えた 影響について	449
五	240	昭和3年1月14日	公一五	在オデッサ島田領事より 田中外務大臣宛	後藤一行のオデッサ来訪に関する報道振り並 びに反響等について	450
五	241	昭和3年1月28日	一一	田中外務大臣より 在英国松井大使宛(電報)	後藤訪ソの非政治性に関する日本政府の見解	451
四	142	昭和3年1月30日	三三	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	本年度の出漁に関し協定すべき事項につき訓 令	312
四	108	昭和3年1月			後藤新平訪ソと漁業条約締結交渉	256
五	242	昭和3年2月1日	公七五	在仏国河合臨時代理大使より 田中外務大臣宛	(1) 「漁業協約調印幹旋顛末」 (2) 「東京ト往復電報」	268
五	243	昭和3年2月2日	普通八二	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛	久原・後藤の訪ソに対する仏国紙報道振り り	452
					後藤の帰途ハルビンにおける談話について	453

一	14	昭和3年5月29日	田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	対日共産主義宣伝および漁区問題等に関する 会談要領	44
四	151	昭和3年5月1日	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	カラハンは内政上の観点から日本との契約調 印を延期する模様について	324
一	13	昭和3年4月20日	出淵外務次官より 杉山内務次官、小原司法次官宛 付記 第三インターナショナルに対する本邦の抗議(経過概要等)	第三インターナショナル幹部会の日本におけ る共産主義運動支援決議について	35
三	69	昭和3年4月12日	付記 昭和三年九月六日および八日付日露通信掲載の石油トラスト契約に關する記事	日ソ兩國企業体間に成立した石油トラスト契 約に關するソ連側の見解	180
三	68	昭和3年4月9日	軍機密燃 九三ノ二 堀田外務省欧米局長宛	北樺太油田開発に關する海軍省の所見につい て	170
四	150	昭和3年4月5日	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	日ソの漁区は現状維持として交渉方訓令	323
三	67	昭和3年4月4日	在オハ豊原分館主任より 田中外務大臣宛(電報)	石油トラスト契約調印にあたっての北樺太石 油会社に対する注意喚起	170
四	149	昭和3年4月3日	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連側の国営漁区拡張と新漁業条約との關係 について	322
四	148	昭和3年3月27日	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	出漁方針および漁区契約と新漁業条約との關 係についてカラハンと会談並びに意見具申	320
四	147	昭和3年3月24日	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	出漁方針並びに漁区契約と新漁業条約との關 係についての我が方の希望	318
三	66	昭和3年3月21日	在オハ豊原分館主任より 田中外務大臣宛(電報)	北樺太石油会社雇用現地人の賃金に關する意 見具申	168
四	146	昭和3年3月18日	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	漁区契約一年延長案の原則承認および新漁業 条約発効との關係につき注意喚起	317
四	145	昭和3年3月11日	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	漢例を除く漁区契約の一年延長に關するカラ ハンの提案について	316
一	8	昭和3年3月8日	田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	久原訪ソ・満鉄東支連絡問題等に關する会談 要領	19
四	144	昭和3年3月(7)日	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	漁区取得方法その他に關する交渉経過	314
五	247	昭和3年2月15日	田中外務大臣宛 田中外務大臣宛	後藤訪ソが中ソ關係におよぼす影響について の中国紙記事訳報	459
五	246	昭和3年2月8日	齋藤福岡県知事より 田中外務大臣他宛	後藤一行の帰朝並びに談話等に關する報告	458
四	143	昭和3年2月8日	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	漁業条約発効にあたり我が方の取るべき基本 方針	313
五	245	昭和3年2月7日	關機高収 三〇〇二 ノ二 出淵外務次官他宛	後藤のソ連紙記者とのインタビューについて	456
五	244	昭和3年2月6日	在ハルビン八木総領事より 田中外務大臣宛	後藤訪ソの中国におよぼす影響に關する中国 紙記事訳報	454

二 昭和三年四月十四日着在オハ豊原分館主任より田中外務大臣宛
第二二号(電報)
ソ連側石油トラストによる労働者勧誘の現状について

付記一 昭和三年三月二十八日付在オハ豊原分館主任より田中外務大臣宛
第一三三号(電報)
北樺太石油会社雇用現地人の賃金問題について

付記 昭和三年三月欧米局第一課調査
極東露領における本邦人利権事業の現状概要

四	109	昭和3年7月19日	一六九	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	係争漁区問題解決にあたっての我が方の希望貫徹方指示	325
四		昭和3年6月30日	一八九	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	係争漁区をソ連の国営に経営させたいとするカラハンの応答について	326
四	153	昭和3年6月1日	一八二	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	係争漁区の日ソ間の配分に関する我が方解決案提示方訓令	327
四	154	昭和3年6月5日	二一一	田中外務大臣宛(電報)	カラハンより提議のソ連側対案への回答振り請訓	329
四	155	昭和3年6月12日	二〇六	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	ソ連案受諾に際しての留保事項について	330
四	156	昭和3年6月14日	二二三	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	漁区問題自然解決にともなう交渉措置振り請訓	331
四	157	昭和3年6月18日	二二七	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	漁区問題自然解決につき交渉不要の旨回訓	331
四	158	昭和3年6月20日		田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	係争漁区問題解決につき祝意表明	331
四	159	昭和3年6月21日		田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使 会談	第三インターナショナルの山東出兵をめぐる対日批難につき抗議方訓令	331
一	15	昭和3年6月25日	二二五	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	対日宣伝についての我が方の抗議に対するソ連側の応答振り報告	46
一	16	昭和3年6月27日	二四九	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	歌舞伎一行に対する歓迎振り報告	47
五	276	昭和3年7月3日	公二三七	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛	歌舞伎の訪ソ公演に関する新聞報道振り	513
五	277	昭和3年7月17日	七七	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	歌舞伎一行に対する歓迎振り報告	514
一	17	昭和3年7月19日		付記 昭和三年七月十七日付在ウラジオストック渡辺総領事より田中外務大臣宛公第二五一号 歌舞伎一行に対する歓迎振り詳報		515
五	278	昭和3年7月23日	公六二	在ウラジオストック高橋領事館事務代理より 田中外務大臣宛	ソ連の共産主義宣伝対策にかかわる日伊提携等についてアロイジ伊国大使との会談要領	49
五	279	昭和3年7月25日	公一六七	在ハバロフスク川角総領事代理より 田中外務大臣宛	歌舞伎一行に対する歓迎振り報告	516
五	280	昭和3年7月26日	公一九四	在オデッサ島田領事より 田中外務大臣宛	歌舞伎に対する反響等報告	517
五	281	昭和3年8月4日	公二六〇	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛	モスクワにおける歌舞伎についての反響等報告	518
六	294	昭和3年8月18日		田中外務大臣 在本邦伊国大使 会談	対ソ日伊提携についての意見交換	535
三	93	昭和3年9月8日	一四五	在ハバロフスク山口総領事より 田中外務大臣宛(電報)	「露領林業組合」団体契約改正案の提議について	237
三	94	昭和3年9月17日	一四七	在ハバロフスク山口総領事より 田中外務大臣宛(電報)	団体契約改訂交渉の経過報告	237
三	95	昭和3年9月19日	一一四	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛(電報)	現行団体契約の打切り通告について	238
三	96	昭和3年9月22日	公三三五	在ハバロフスク山口総領事より 田中外務大臣宛	団体契約改訂交渉経過に関するソ連紙記事について	238
三	70	昭和3年10月11日	軍需機密 八八	池田海軍省軍需局長より 堀田外務省欧米局長宛	北樺太石油会社設立の由来に関する海軍省調書の送付	182
二	34	昭和3年12月13日	公三九三	在ウラジオストック渡辺総領事より 田中外務大臣宛	トレチャコフ駐日通商代表代理の日ソ貿易の現状並びに見通しに関する談話報告	110
四	109	日付不明			日ソ漁業条約改訂の経過および結果について	272

昭和四年

二	37	昭和4年3月11日	文四二八	吉田外務次官宛	阿部農林次官より	対ソ貿易振興策に関する調査回答	119
四	174	昭和4年3月7日	一一一	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	競売強行問題についてはウラジオストック現 地にて解決したいとのソ連側要望について	352
四	173	昭和4年3月5日	一〇四	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	競売強行問題善後策をめぐるカラハンの会 談について	350
四	172	昭和4年3月4日	六二	田中外務大臣より	在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	ソ連側の競売強行に対する善後措置について	347
四	171	昭和4年3月3日	六〇	別電 第六一号 新漁区追加発表問題並びに標準漁獲高問題に関する申入方訓令	在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	競売取消方申入れ訓令	346
四	170	昭和4年3月1日	九六	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	競売を正式のものとして認め難い旨当方の見解表 明について	343
四	169	昭和4年3月1日	二六	田中外務大臣宛(電報)	在ウラジオストック渡辺総領事より	競売の結果統報	343
四	168	昭和4年2月28日	二五	田中外務大臣宛(電報)	在ウラジオストック渡辺総領事より	競売結果につき報告	342
四	167	昭和4年2月26日	五一	田中外務大臣より	在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	競売期日延期をめぐるトロヤノフスキー大使 来談	341
四	166	昭和4年2月23日	八〇	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	競売期日延期の件に関するソ連側応答振りに ついて	340
四	165	昭和4年2月21日	四一	田中外務大臣より	在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	競売延期および懸案解決方申入れ	339
四	164	昭和4年2月19日	七〇	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	漁区競売問題をめぐる諸懸案につきカラハン と懇談	338
四	163	昭和4年2月16日	暗三三	田中外務大臣より	在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	ソ連側私的企業の競売参加に当って留意すべ き事項について	337
四	162	昭和4年2月10日	四七	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	漁区競売に当って処理すべき諸懸案について	334
一	23	昭和4年1月		欧米局第一課調査		昭和三年における第三インターナショナル並 びにソ連の対日宣伝活動について	64
二	36	昭和4年1月29日	公二七	田中外務大臣宛	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	日ソ通商条約締結促進を提案するソ連商工新 聞記事報告	116
四	161	昭和4年1月19日	一〇	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	日本における反ソ運動と漁業問題に関するイ ズヴェスチヤ紙論評	333
四	160	昭和4年1月15日	四	田中外務大臣より	在ハバロフスク山口総領事宛(電報)	漁区競売に当って新漁業条約に抵触する問題 について	332
二	35	昭和4年1月12日	通二 六二	付記一	武富外務省通商局長より 副島商工省商務局長宛	対ソ貿易拡大官民懇談会の開催について	112
				付記二	昭和四年一月十二日付武富外務省通商局長より日本商工会議所会頭他 宛	右懇談会への出席招請	114
				付記三	昭和四年一月二十一日付在アレクサンドロフスク佐々木総領事(帰朝 中)より武富外務省通商局長宛	対ソ貿易拡大官民懇談会傍聴報告	114
				付記四	対露貿易懇談会における当業者の主要希望事項について(通商局第二 課)		116

四	175	昭和4年3月15日	七四	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	次回競売に際し我が方として留意すべき点について	353
四	176	昭和4年3月17日	一一二	田中外務大臣宛(電報)	次回競売をめぐるカラハンの応酬について	355
三	177	昭和4年3月24日	八二	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	次回競売をめぐる吉田次官とトロヤノフスキ大使との会談	359
三	178	昭和4年3月26日	八三	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	露領林業会社の利権契約および団体契約改訂交渉援助方訓令	240
四	179	昭和4年3月29日	八四	吉田外務次官 在本邦ソ連邦大使 会談	漁区問題についての日ソ間諒解事項	360
四	191	昭和4年4月6日	一四五	田中外務大臣宛(電報)	漁区問題についての日ソ間諒解事項	361
四	192	昭和4年4月7日	一四四	田中外務大臣宛(電報)	次回競売における漁区に関するカラハンの会談	363
四	193	昭和4年4月8日	一〇一	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果につき田中外務大臣	381
四	194	昭和4年4月9日	九九	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果につき田中外務大臣	383
四	181	昭和4年4月8日	五〇	田中外務大臣より 在ウラジオストック渡辺総領事宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	365
四	182	昭和4年4月11日	五五	田中外務大臣より 在ウラジオストック渡辺総領事宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	385
三	98	昭和4年4月13日	一六二	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	366
三	99	昭和4年4月13日	一六三	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	241
四	100	昭和4年4月23日	一一三	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	241
四	183	昭和4年4月30日	一二七	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	366
四	195	昭和4年5月7日	一三六	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	388
四	196	昭和4年5月10日	一九四	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	389
四	180	昭和4年4月6日	八六	田中外務大臣宛(電報)	四月五日追加競売の結果概要報告	364
四	175	昭和4年3月15日	七四	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	次回競売に際し我が方として留意すべき点について	353
四	176	昭和4年3月17日	一一二	田中外務大臣宛(電報)	次回競売をめぐるカラハンの応酬について	355
三	177	昭和4年3月24日	八二	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	次回競売をめぐる吉田次官とトロヤノフスキ大使との会談	359
三	178	昭和4年3月26日	八三	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	露領林業会社の利権契約および団体契約改訂交渉援助方訓令	240
四	179	昭和4年3月29日	八四	吉田外務次官 在本邦ソ連邦大使 会談	漁区問題についての日ソ間諒解事項	360
四	191	昭和4年4月6日	一四五	田中外務大臣宛(電報)	漁区問題についての日ソ間諒解事項	361
四	192	昭和4年4月7日	一四四	田中外務大臣宛(電報)	次回競売における漁区に関するカラハンの会談	363
四	193	昭和4年4月8日	一〇一	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果につき田中外務大臣	381
四	194	昭和4年4月9日	九九	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果につき田中外務大臣	383
四	181	昭和4年4月8日	五〇	田中外務大臣より 在ウラジオストック渡辺総領事宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	365
四	182	昭和4年4月11日	五五	田中外務大臣より 在ウラジオストック渡辺総領事宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	385
三	98	昭和4年4月13日	一六二	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	366
三	99	昭和4年4月13日	一六三	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	241
四	100	昭和4年4月23日	一一三	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	241
四	183	昭和4年4月30日	一二七	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	366
四	195	昭和4年5月7日	一三六	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	388
四	196	昭和4年5月10日	一九四	田中外務大臣宛(電報)	四月五日の競売結果の是正措置振りにつき請訓	389

四	214	昭和4年6月5日	二五二	田中外務大臣宛(電報)	在ソ連邦酒匂臨時代理大使より	宇田・日魯漁業間の妥協成立に伴う善後措置 に關しソ連側当局との交渉方訓令	392
四	213	昭和4年6月4日		吉田外務次官 在本邦ソ連邦大使 會談	宇田漁区問題解決に關する吉田次官よりトロ ヤノフスキー大使への申入れ	395	
四	212	昭和4年6月3日	九七	田中外務大臣より 在ウラジオストク小柳總領事代理 宛(電報)	宇田競落漁区の日魯への譲渡につきソ連側と 交渉について	395	
四	211	昭和4年6月1日	二三八	田中外務大臣宛(電報)	宇田の契約解除追加説明に關しカズロフスキ 1との懇談について	395	
四	210	昭和4年5月31日	一七八	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	宇田より在京ソ連總領事館經由にてソ連側に 対し追加説明済み通報	241	
四	209	昭和4年5月30日	一七三	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	露領水産組合が自由出漁を断行した場合には 保護し得ない旨の情報部長声明について	397	
四	208	昭和4年5月29日	一六八	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	要望	398	
四	207	昭和4年5月28日	二二八	田中外務大臣宛(電報)	宇田の契約解除理由不十分につき追加説明取 計い方ソ連側より申出	401	
四	206	昭和4年5月27日	一六一	田中外務大臣宛(電報)	宇田の在京ソ連總領事館への契約解除願書提 出について	401	
四	205	昭和4年5月25日	二二九	田中外務大臣宛(電報)	宇田の契約解除願書提出に對するソ連側の對 応振りについて	402	
四	204	昭和4年5月25日	一五七	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	露領水産組合の決定をめぐる吉田次官と駐日 ソ連大使との會談	403	
四	203	昭和4年5月24日	二二二	田中外務大臣宛(電報)	漁区問題解決のため宇田の権利放棄につきソ 連側当局者と懇談	403	
四	202	昭和4年5月23日	一五四	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	新聞論説について	402	
四	201	昭和4年5月23日	二二〇	田中外務大臣宛(電報)	露領水産組合の決定に對するイズヴェスチャ およびブラウダの反響	399	
四	200	昭和4年5月23日	一四九	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	露領水産組合の決定に對するイズヴェスチャ およびブラウダの反響	398	
三	101	昭和4年5月22日	二〇三	田中外務大臣宛(電報)	宇田問題に關し再競売によらず特別貸下げと したい旨ソ連側の希望について	397	
四	199	昭和4年5月20日	二〇二	田中外務大臣宛(電報)	森林利権契約および団体契約の根本的改訂に 關するソ連側意向打診方訓令	397	
四	198	昭和4年5月20日	二〇二	田中外務大臣宛(電報)	宇田の契約失効希望表明に對するソ連側の取 扱い振り報告	397	
四	197	昭和4年5月16日	一四二	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	宇田・日魯漁業間の妥協成立に伴う善後措置 に關しソ連側当局との交渉方訓令	397	

四	215	昭和4年6月6日	田中外務大臣 在本邦ソ連邦大使	会談	宇田問題および日露協会会長問題等に関する 会談	420
四	216	昭和4年6月14日	田中外務大臣より 在ソ連邦酒匂臨時代理大使宛(電報)	旨通報について	ソ連漁業庁長官より宇田貫一郎宛失効確認の 旨通報について	422
四	217	昭和4年6月18日	田中外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	宇田漁区問題解決について		423
四	218	昭和4年6月19日	在ハバロフスク山口総領事より 田中外務大臣宛(電報)	租借協定書に調印終了について		423
三	102	昭和4年6月20日	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連側の森林利権および団体契約改訂拒否の 意向について		242
二	38	昭和4年8月23日	在ハバロフスク山口総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	柑橘類輸出に関するソ連側意向打診について		123
三	71	昭和4年10月8日	海軍軍令部参謀所見	北樺太石油利権に関する海軍軍令部参謀の所 見		191
二	39	昭和4年11月15日	在ハバロフスク村瀬総領事館事務代 理より 幣原外務大臣宛	日ソ貿易額増加に関するソ連側の発表につい て		123
三	40	昭和4年11月28日	武富通商局長より 在本邦ソ連邦通商代表宛	我が国柑橘類の輸出促進に対するソ連側の善 処方要望について		124
一	18	昭和4年12月20日	機密 在英國松平大使より 幣原外務大臣宛	マルクス伝記の我が国への輸入および発売に 関する調査依頼		52
四	184	日付不明	(1)「日露漁業条約並ニ昭和四年度出漁ニ関スル件」 (2)「日露漁業条約及本年度出漁ニ関スル件」			368 370

昭和五年

二	41	昭和5年1月8日	普通一五 在ハバロフスク山口総領事より 幣原外務大臣宛	日ソ貿易の現状並びに見通しに関するアニケ ーエフ駐日ソ連通商代表の談話記事報告		126
一	19	昭和5年1月15日	九 在ソ連邦田中大使宛(電報)	日本共産党事件に対するコミンテルンの関与 につきソ連政府に抗議方訓令		53
一	20	昭和5年1月19日	三一 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	昭和五年一月十五日付幣原外務大臣より在ソ連邦田中大使宛第一〇号 別電 共産党事件の概要とソ連の対日本共産党支援活動について		54
一	21	昭和5年1月31日	四五 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	昭和五年一月十五日付幣原外務大臣より在ソ連邦田中大使宛第一一号 (電報) ソ連の日ソ基本条約第五条違反行為について		56
四	185	昭和5年2月13日	三六 幣原外務大臣より 在ソ連邦田中大使宛(電報)	ソ連政府への我が方抗議申入に対するカラハ ン外務人民委員代理の対応振り報告		57
四	186	昭和5年2月17日	八四 在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方の抗議に対するソ連政府の回答並びに カラハンの応答要旨報告		58
			別電 昭和五年一月三十一日付在ソ連邦田中大使より幣原外務大臣宛第四六号 日本共産党とコミンテルンとの関係等に関するソ連政府の釈明について			61
			ソ連政府の個人企業融資および競売参加につ きカラハンに注意喚起方訓令			373
			ソ連個人企業の競売参加に関するカラハンの 会談について			374

一	22	昭和5年2月24日	略二八	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	マルクス伝記の我が国への輸入および発売に 関する調査回答	62
三	72	昭和5年2月25日	二七	付記一 昭和五年二月十三日付潮内務次官より吉田外務次官宛 マルクス伝記の発売に関する回答 二 昭和五年二月二十一日付河田大蔵次官より吉田外務次官宛 蔵税第四七〇号 マルクス伝記の輸入に関する回答	62	
四	187	昭和5年2月25日	二七	在ウラジオストック緒方総領事代理 より 幣原外務大臣宛(電報)	漁区競売結果について	376
三	72	昭和5年2月25日	公六九	在ソ連邦田中大使より 幣原外務大臣宛	北樺太における日本の石油利権に関する新聞 記事報告	193
四	188	昭和5年2月26日	二八	在ウラジオストック緒方総領事代理 より 幣原外務大臣宛(電報)	競売参加者一同の決議について	376
四	189	昭和5年3月1日	五六	別電 昭和五年二月二十六日付在ウラジオストック緒方総領事代理より幣原外 務大臣宛第二九号 漁区競売邦人参加者の決議	今回競売の結果および漁業関係者の反応等に 関する駐日ソ連大使との会談について	377
三	73	昭和5年4月19日	本機密 五三	幣原外務大臣より 在オハ下村分館主任より	北樺太における石油採掘予定量に関する五カ 年計画について	195
三	55	昭和5年5月31日	本機密 一〇三	在アレクサンドロフスク佐々木総領 事より 幣原外務大臣宛	我が国企業に対するソ連政府の利権政策につ いての風説	149
三	74	昭和5年6月26日	本普通 七九	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	北樺太における石油採掘事情に関するソ連側 現地責任者の談話要領	196
一	24	昭和5年6月26日		付記 昭和五年八月十二日付在オハ下村分館主任より幣原外務大臣宛 本普通第一〇五号 北樺太における石油採掘実績に関するソ連側現地責任者の談話要領	ソ連の中国および日本に対する共産主義宣伝 の実情について	82
三	75	昭和5年7月23日	本機密 九五	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	北樺太石油会社とソ連側との原油取引量・価 格に関する契約更新について	200
三	56	昭和5年7月30日	本機密 九八	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	我が国利権企業に対するソ連官憲の対応振り について	151
三	103	昭和5年8月11日	一欧一普合 一〇六四	幣原外務大臣より 在ソ連邦各公館長宛	露領林業会社の利権契約解除に関する取極め 訳文送付	242
四	190	昭和5年8月19日	五〇〇	付記 昭和五年七月欧米局第一課 露領林業会社利権契約解除に関する取極め	極東漁業に関するブラウダおよびイズヴェス チャの論説記事について	243
三	76	昭和5年9月20日	本普通 一二四	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	北樺太石油会社邦人雇用者の労働環境に関す る報告	201
三	77	昭和5年9月28日	本普通 一二七	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	ソ連中央利権委員会委員とオハ日本側企業現 地責任者との面談について	212
三	78	昭和5年10月17日	亜機密 六九	在オハ下村分館主任より 在アレクサンドロフスク佐々木総領 事宛	オハにおける邦人労働者数増加に対するソ連 側の対応振りについて	214
三	79	昭和5年11月4日	本普通 一五二	在オハ下村分館主任より 幣原外務大臣宛	オハにおける石油採掘量に関する報告	215
三	80	昭和5年11月27日	五五六	庶発 堀田外務省欧米局長宛	北樺太石油会社とソ連労働組合との団体契約 改訂について	216

六	295	昭和5年12月28日	機公 五五九	在ソ連邦広田大使より 幣原外務大臣宛	仏ソ関係の悪化とソ連の対仏政策について	538
---	-----	------------	-----------	-----------------------	---------------------	-----

昭和六年

二	42	昭和6年1月17日	一四	在ソ連邦広田大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日ソ貿易に関するモロトフ人民委員会議長との 会談要領報告	127
六	296	昭和6年3月10日	八四	在ソ連邦広田大使より 幣原外務大臣宛(電報)	モロトフのブリアン仏国外相批判と駐ソ仏国 大使の帰国について	541
六	297	昭和6年5月11日	機密公 二七九	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛	仏ソ通商関係再開に向けての仏国の対ソ政策	541
二	43	昭和6年6月9日	二一七	在ソ連邦広田大使より 幣原外務大臣宛(電報)	トロヤノフスキー駐日大使の大阪クラブでの 発言の真意について照会	128
二	44	昭和6年6月11日	一七〇	付記 昭和六年六月十日付在ハバロフスク小柳総領事代理より幣原外務大臣宛 普通第一二六号 トロヤノフスキー駐日ソ連大使提案の日本側クレジット供与に関する報道記事について	日ソ貿易および利権問題にかかわるトロヤノ フスキー大使と永井前政務次官との会談要領 ソ連の対欧州政策並びに仏ソ通商関係の改善 について	129
六	298	昭和6年6月11日	機密公 二六二	在ソ連邦広田大使より 幣原外務大臣宛	ソ連の対欧州政策並びに仏ソ通商関係の改善 について	542
二	45	昭和6年6月20日	七七	在アレクサンドロフスク佐々木総領 事より 幣原外務大臣宛(電報)	対ソ貿易におけるクレジットの設定に関する 意見具申	130
六	299	昭和6年7月24日	機密公 一三〇	在ポーランド国河合公使より 幣原外務大臣宛	仏ソ通商関係の改善とポーランドの対応	545
二	46	昭和6年7月26日	普通 一五二	在ハバロフスク小柳総領事代理より 幣原外務大臣宛	トロヤノフスキー大使の日ソ経済関係に関する 談話記事報告	130

日本外交文書
昭和期 I 第二部第三卷
(昭和二~六年)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series I (1927-1931)
Part 2, Volume III

印刷所
東京都墨田区亀沢三二〇一四
ヨシダ印刷両国工場

外務省編纂
外務省発行

平成元年三月二〇日印刷
平成元年三月三十一日発行